



## 第7戦

## AUTO POLIS GT 3Hours RACE

## オートポリス

予選

10月18日(土)

天候:曇りのち雨 コース状況:ドライ〜ウエット



予選：3位

曇り時々晴れで気温24℃、路面温度31℃の9時25分に公式練習がスタート。次第に日差しが減り、気温も路面温度も下がっていった。まずは堤優威が今回持ち込んだタイヤと前回のアクシデントから修復なった車両をチェックしセットアップ。続いて平良響がロングランを担当。今回は第2戦富士に続きCドライバーとしてト部和久がエントリーしたが、ステアリングを握ることはなかった。混走の時間帯までは1分44秒823でトップタイムだったが、GT300クラスの専有走行枠では弱い雨がポツポツと落ちて始めこのセッションは4位とまずまずの位置につけた。この後のGT500クラスの専有走行枠は雨脚が強まりウエットコンディションとなった。

公式予選は14時45分にスタートしたが、路面は午前中の降雨によりうっすらと濡れていた。天候は曇りで気温21℃、路面温度23℃というコンディション。14台によるA組Q1予選では終盤コースにオイルを撒いた車両があり、その処理のためにB組Q1予選は予定より15分遅れの15時18分に始まった。

いつものように平良がコースへ。今回B組は13台が出走し、上位9台に入ればQ2へ進出ができる。平良は計測3周目に1分45秒498でトップにつけたが、すぐにこのタイムは更新され5位まで順位を落とした。しかし次の周では1分44秒856へタイムアップし4位へ順位を上げチェッカー。無事Q2への進出を果たした。

17台の車両が出走したQ2は15時53分にスタート。路面は完全に濡れておりタイヤ選択が難しい状況だったが、他の多くの車両同様、堤はスリックタイヤを履いてコースイン。なかなかタイヤが暖まらない様子だったが、計測4周目に1分45秒474で2位となった。その後順位は6位まで落ちたが、次の周に1分44秒552で2位へ。しかし最後にトップタイムを更新した車両があり3位となった。これで明日の決勝レースは2列目からのスタートが確定した。

19日の決勝3時間レースは13時10分にスタート予定。



HYPER WATER®

GR

BRIDGESTONE

TGR-DC

TGR-D

ADVICS

PMU

金星工業

MUGA

1-3990-3400

W01-3400

ELI HOMES

MOTUL

MS COLLECTION

SAKIKISHOKU

TONE

pepsi

NAKANURA

KIRI

OGURA

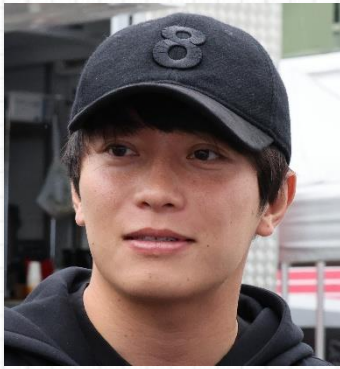
OHMS

TWS

DEL

M&amp;M

VIEWTEC



## ドライバー 堤 優威

「コースはウェットでしたしタイヤのコンパウンドも硬い方で行ったので恐ろしかったです。アウトラップでピットインしたくなりましたが、レインタイヤで出た車両がタイムアップしていないという情報が入ったので頑張ってタイヤを暖めました。最後の方でようやくタイヤが暖まって来て最後の1周は絶対にミスできない状況でしたがしっかりまとめて3位になれたのでドライバーとしてはちゃんと仕事ができただかなと思います。明日は確実なレースをして最低でも表彰台は獲得したいです」

## ドライバー 平良 響

「例年オートポリスでは調子が良かったので、これまでのデータを確認し今季はタイヤサイズが変わったためデータにアジャストして走り自信を持ってタイヤを選びましたが、雨。Q1は最初雨量が増えて途中止み最後のセクター3でまた降るとい難いコンディションでしたが、Q1を突破でき優威さんも3位が取れて良かったです。僕たちよりランキング上位の車両が前にいるので抜いていけないといけないのですが、ブリヂストンタイヤと86のコーナリング特性を生かして追いついていきたいです」



## ドライバー 卜部 和久

「今回BoPが厳しくなった(+10kg) のですが練習走行ではセットアップがどんどん良い方向にいていました。自分たちが予想していたより奮闘しているなという印象をみんな持っていて、そんな中トリッキーなコンディションの予選でふたりのドライバーがやれることを最大限やった結果がこの3位になっていると思いますので、自信を持って戦っていききたいと思います。明日は場合によっては乗るかもしれませんので、いつでも乗れるように引き続き勉強していききたいと思います」

## 監督 加藤 寛規

「走り始めからタイヤの感じが今までと違うなと思っていましたが、ドライバーのコメントもそうでしたし難しい予選だったのですが、チームスタッフがうまくセットを合わせてくれました。予選のコンディションも難しかったのですが、ドライバーとエンジニアがうまく情報を共有しながら、他のチームのタイヤもチェックしてうまく対応できたこともあり3位という良いポジションが取れました。明日は3時間の長いレースですし期待が持てる順位ですから、しっかり戦ってきたいと思います」



HYPER  
WATER®

GR

MS COLLECTION

BRIDGESTONE

SANKI SHOKAI

TGR-DC

TONE

TGR-D

pepsi

ADVICS

NAKAMURA KOSHIA

PMU

Kate

金星工業

OSQURA

MUTA

OHLS

トヨタ自動車

TMS

山田三洋

DBL

ELI HOMES

AMS MEGA LIFE

MOTUL

VIEWTEC